

令和5年3月3日（金）  
精神障害者包括支援部会

## 1. 今後のテーマ設定について（部会での議論から）

### ①ロードマップの作成

単発で終わるのではなく、ゆるく長くつながる取り組みに。将来的なビジョンを確認。

### ②地域の実態把握（地域アセスメント）

既にある事業や取り組みを整理する、先ずはできていることを評価する。どのような取り組みが行われているのか「見える化」して何が足りないのかを確認する。ワークショップなどのプロセスで連携促進。

### ③連携や相互理解の促進

ガイドブックの作成や居住支援、相談支援の研修などを通じて。他分野（高齢など）との横断的な連携も必要ではないか。

### ④相談先、相談体制の見える化

体制がしっかりしていること、それが分かることが大事。周知や広報、どうしたらつながりやすくなるか。

## 2. ガイドブックの作成について

テーマ設定や他の部会の検討状況も踏まえながら、検討したい。

## 3. 密着アドバイザーについて

- ・振り返りシートからも、各委員からは設置について賛成の声多数。
- ・豊島区としてどのような役割、立ち位置のアドバイザーかを明確に。

## 4. 研修

未定。研修かワークショップのような形式か、取り扱うテーマにより決めたい。

## 5. 次年度部会（案）

### ①豊島区での「にも包括」構築に向けたロードマップの検討

### ②地域アセスメント（研修やワークショップなどを実施）

地域資源の見える化・共有化／地域性や強み、不足する資源の確認／多職種・他分野の連携、相互理解促進→必要に応じて（結果として）、ガイドブックやマップなどを作成